



まるやま

教育目標：みんな かがやく

新潟市立丸山小学校
学校だより
令和5年6月12日
4号

通知表を変える

～よさや成長を大切にしていくために～

校長 福原 清訓

今年度から、お子さんのよさや成長を大切にしていくことを念頭に、通知表を改訂します。具体的には、次のとおり改訂します。

- 評価は、学習の記録を記す「指導要録」とリンクさせて**観点別評価**とします。
- 所見も、「指導要録」の所見とリンクさせて**1年間の記録として後期のみの記述**とします。前期の通知表は評価のみとします。
- 通知表で伝えきれない**子どものよさや成長は、個人懇談やワークテスト等の結果、子どもの自己評価などで伝達**していきます。
- 来年度からは、**子どもを交えた三者での個人懇談**を実施していきます。

1 指導要録とは…

学校において、1年間の学習の記録を記すものに「指導要録」があります。学校教育法施行規則第24条第1項「指導要録」には次のように示されています。

校長は、その学校に在学する児童等の指導要録（学校教育法施行令第31条に規定する児童等の学習及び健康の状況を記録した書類の原本をいう。）を作成しなければならない。

つまり、学習等の状況を記録して残す「指導要録」は、毎年必ず作成しているのです。「指導要録」では、各教科について観点別に評価しています。観点は次の3点です。

○主体的に学習に取り組む態度 ○思考・判断・表現 ○知識・技能

従来の評価では、「～ができた」という「知識・技能」の定着に重きが置かれていました。しかし、未来をたくましく生き抜いていく子どもを育てていくことを念頭に、「主体的に学習に取り組む態度」や「思考・判断・表現」に重きが置かれるようになってきています。

また、総合所見では、次の事項について文章で記述します。

- 1 各教科や外国語活動、総合的な学習の時間の学習に関する所見
- 2 特別活動に関する事実及び所見
- 3 行動に関する所見
- 4 児童の特徴・特技、学校内外におけるボランティア活動など社会奉仕、体験活動、表彰を受けた行為や活動、学力について標準化された検査の結果等指導上参考となる諸事項
- 5 児童の成長の状況にかかわる総合的な所見

記入に際しては、「児童の優れている点や長所、進歩の状況などを取上げることに留意する」とされています。つまり、子どものよさや成長を大切に記していくことにより、次学年に向けてその子のよさや成長をつないでいこうとする記録になっているのです。

2 通知表の在り方を考える

前述した「指導要録」に対し、通知表は作成しなければいけない法的な根拠はなく、学校での子どもの状況を保護者に伝え、一緒に教育に当たる理解と協力を得るために校長裁量で発行します。通知表は、子どもが一層意欲的に学んでいくための指標になるべきものであり、決して子どもにレッテルを貼って、良し悪しを決めつけたり、他人と比べたりするものではありません。ともすると、多くの保護者は、通知表の「とてもよい」や「がんばろう」の○の数を数えて一喜一憂してしまう傾向にあります。「とてもよい」の数が増えてご褒美をあげるとか、「がんばろう」が多いからゲームが取り上げるなどの話も聞きます。これらの話を聞くと、

「何のための通知表？」とってしてしまいます。保護者が結果ばかり求めれば、子どもは失敗を恐れ、「やってみよう！」とチャレンジしない子になっていきます。また、○の数を兄弟姉妹や他の子どもと比較すれば、評価が今一歩の子どもの自己肯定感が低くなるのは当然です。これでは、当校が目指す「みんな かがやく」姿にはつながりません。結果主義をやめることが大切で、「主体的に学習に取り組む態度」や「思考・判断・表現」という視点から、お子さんのよさや成長を見つめ、見守る保護者になっていただきたいと思うのです。

これらのことから、私は、今の通知表では、子どものよさや成長を十分伝えることができないので、なくしてもよいと考えます。しかし、学校でのお子さんの学習・生活の記録を残したい…と考えられる方も多いでしょう。ですから、通知表を学校での学びの記録を記す「指導要録」とリンクさせることが望ましいと考えました。

最初にお伝えしたとおり、評価は、従来の単元別評価から「指導要録」に合わせた観点別評価に変更します。前述の3観点に合わせた評価は、すぐには変容しないかもしれませんが。でも、観点は1年生から6年生まで変わらない（中学校の指導要録も同じ）ので、長い目で見るとお子さんのよさや成長がわかっていくはずですよ。お子さんのよさや成長を捉えていくことが、自己有用感、自己肯定感を高めることにつながり、一層よりよく学ぶ・生きる意欲へとつながっていきます。

通知表は、学びの大まかな捉えなので、通知表の評価だけでは子どもの学びの具体は見えません。「主体的に学習に取り組む態度」は、お子さんの活動の様子を参観等で直接見ていただきたいです。「思考・判断・表現」については、個人懇談やワークテストの結果、作成した作品、学習活動の自己評価等でお伝えしていきます。また、ノートやタブレット端末の学習の振り返りを見ていただくと、お子さんの思考がよくわかるはずですよ。通知表はあくまでも学校での学習・生活の記録として考えていただき、お子さんの「主体的に学習に取り組む態度」や「思考・判断・表現」の変容・成長を多角的に捉えていただければ有り難いです。

当校では、今後、通知表以上に個人懇談での対話の機会を大切にしていきたいと考えています。「どのように学び、どのように成長しているか」を子ども、保護者、担任が共有すること、そして、それによって子どもが一層意欲的に学び、一層成長していけるようにすることがとても重要だと考えるのです。今年度は予定どおり個人懇談を実施していきますが（2回目は希望者のみ三者での個人懇談も検討中）、来年度からは、お子さんを含めた三者での個人懇談を設定して、よりお子さんのよさや成長と一緒に確かにしていけるように取組を進めていきます。ご理解とご協力をお願いします。

<きらきらスナップ>

だるまさんがころんだ！
スマイリータイム



どうする？授業
校内研修
～ラウンドティータイム～

メディアシップに行ってきたよ！
3年生校外学習



【教育実習】

当校では、現在、教育実習が行われています。実習生は、東京福祉大学からきている本間怜佳さんです。当校出身の先輩です。5月29日(月)から6月23日(金)まで、教員としての授業づくりや様々な仕事を学びます。

日々、驚きと発見に満ちた実習生活を送っています。残り2週間となりますが、子どもたちとかわり、先生方の姿を見ながら頑張ります。よろしくお祈りします。

